

単元名 音楽ランド(1)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と声の重なる響きなど音楽との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて自然で無理のない声で歌うことができる。
- (2) 声の重なる響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 声の響き合いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05070107_001

【教材名】 こげよマイケル (歌唱) (P. 65)

【準備等】 範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「こげよマイケル」を、声を聴き合って合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱を聴き、曲の雰囲気をつかむ。 ★ 声を聴き合って楽しく合唱しよう <p>○ 曲の特徴を捉える。</p> <p>○ 歌詞を朗読し、意味を理解する。</p> <p>○ 上声部と下声部に分かれ、それぞれの旋律を歌唱する。</p> <p>○ 響きを確認めながら合唱する。</p> <p>○ 強弱や速度などの表現の仕方を工夫する。</p> <p>○ 声の響き合いを味わいながら合唱し、教材のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「こげよマイケル」はスピリチュアル（霊歌）である。スウィングするリズム（二つの連続した音符のうち、初めの音符を長めにとり二つ目を短くするリズムの揺らぎ）や賛美歌のような三部合唱の響きを感じ取らせる。 ・ 「ハレルヤ」の部分が三部合唱になっていることを確認する。 ・ 「こげよマイケル」について、スピリチュアルについてふれて、ハレルヤの意味を教えてもよいが、宗教教育にならないように注意する。 <p>【資料】スピリチュアル（霊歌）とは黒人霊歌、白人霊歌の総称。奴隷として連れてこられたアフリカ系アメリカ人にキリスト教が広まり、賛美歌とアフリカ独特の音楽的感性が融合した音楽である。他には「聖者の行進」や「アメイジング・グレイス」がある。ハレルヤとはヘブル語（ヘブライ語）で「主をほめ賛えよ」の意味。神を賛美し、喜びを表す語。キリスト教会の聖歌・賛美歌に用いられる。</p> <p>【評】曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりについて理解して歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お互いの声につられないように、歌う場所を分けさせるとよい。 ・ それぞれのパートを覚えたら、音を伸ばして響きを確認めて歌う活動を行うとよい。 <p>【共通事項】旋律 音の重なり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの旋律をピアノで弾いて音を確認めたり、分かれた音を伸ばして響きを確認めて歌わせてもよい。 ・ 徐々に他方のパートを歌う人数を増やしていくなど、子どもたちの実態に合わせた方法で合唱をさせていく。 <p>【評】声を響き合わせて合唱する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人と全員といった掛け合いや、手拍子を入れて歌う活動を取り入れるとよい。 <p>【評】声の重なる響きを聴き取り、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて合唱する活動を通して「技能」を評価する</p>

【 備 考 】